

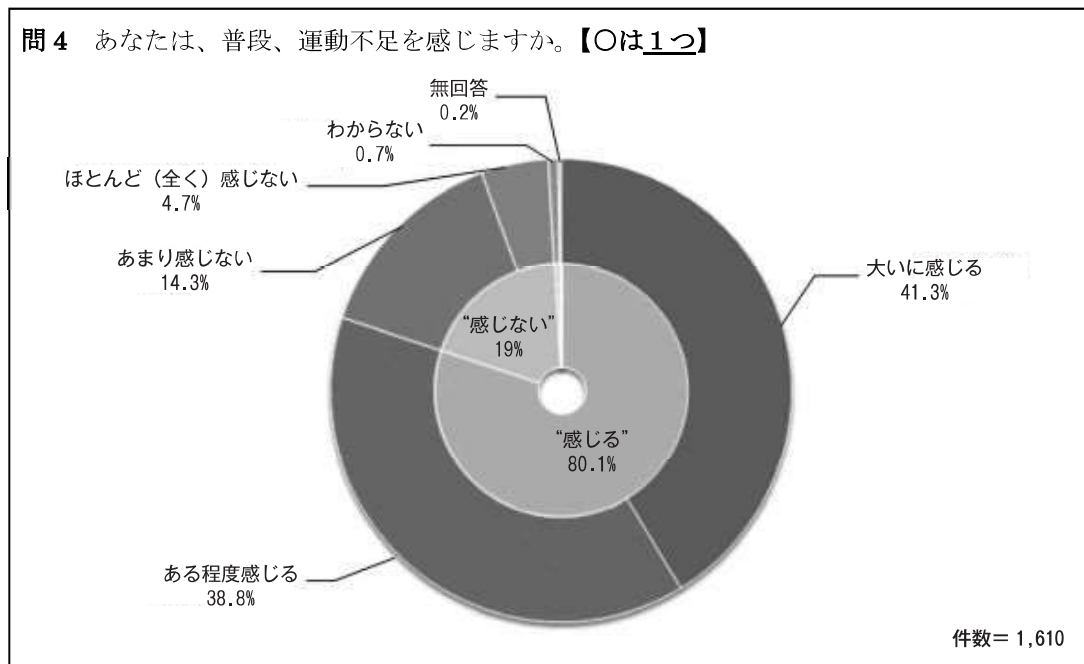
県政世論調査の結果について(抜粋)

愛知県では、県民の皆様には県政に対する御意見や御意向をアンケートによりお答えいただく「県政世論調査」を実施しており、この結果を県政運営の基礎資料として活用しています。

- 1 調査対象 愛知県内に居住する18歳以上の男女3,000人
- 2 抽出・調査方法 層化二段無作為抽出法・郵送法
- 3 調査期間 平成28年10月1日(土)から10月20日(木)まで
- 4 回答者数 1,610人(53.7%)

Q 運動不足を感じるか

普段の運動不足について"感じる"が80.1%

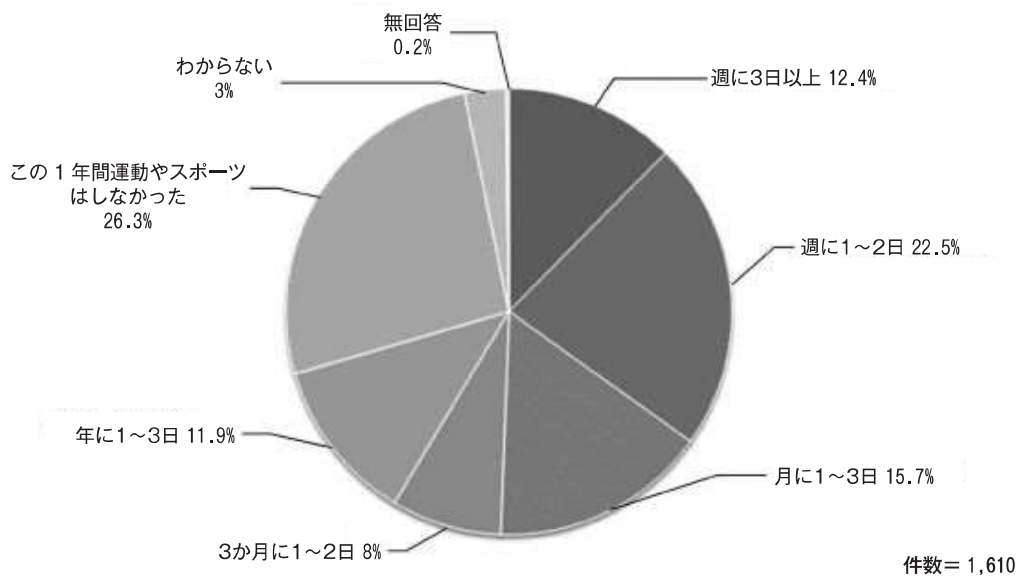


普段の運動不足について、「大いに感じる」(41.3%)と「ある程度感じる」(38.8%)を合わせた普段の運動不足について"感じる"と答えた人の割合が80.1%に対し、「あまり感じない」(14.3%)と「ほとんど(全く)感じない」(4.7%)を合わせた普段の運動不足について"感じない"と答えた人の割合は19%となっている。

Q この1年間に行った運動・スポーツの日数

「この1年間運動やスポーツはしなかった」が26.3%

問5 あなたが運動やスポーツを行う頻度はどの程度ですか。【〇は1つ】



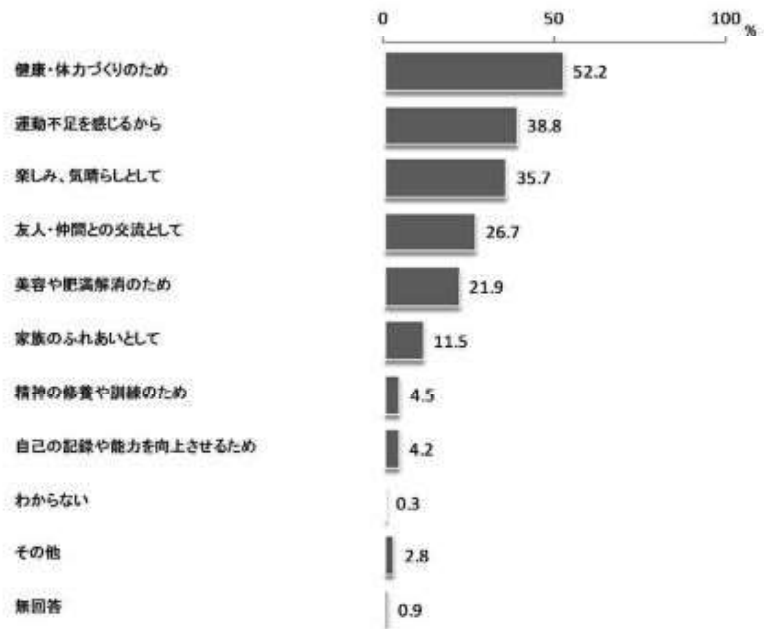
運動、スポーツを行う頻度について「この1年間運動やスポーツはしなかった」と答えた人の割合が26.3%と最も高く、続いて「週に1~2日」(22.5%)、「月に1~3日」(15.7%)の順になっている。

Q 運動・スポーツを行った理由

「健康・体力づくりのため」が 52.2%

問 6 <問 5 で「1」～「5」と答えた方にお聞きします>

あなたが運動やスポーツをしたのはどのような理由からですか。【〇は複数可】



件数 = 1,135

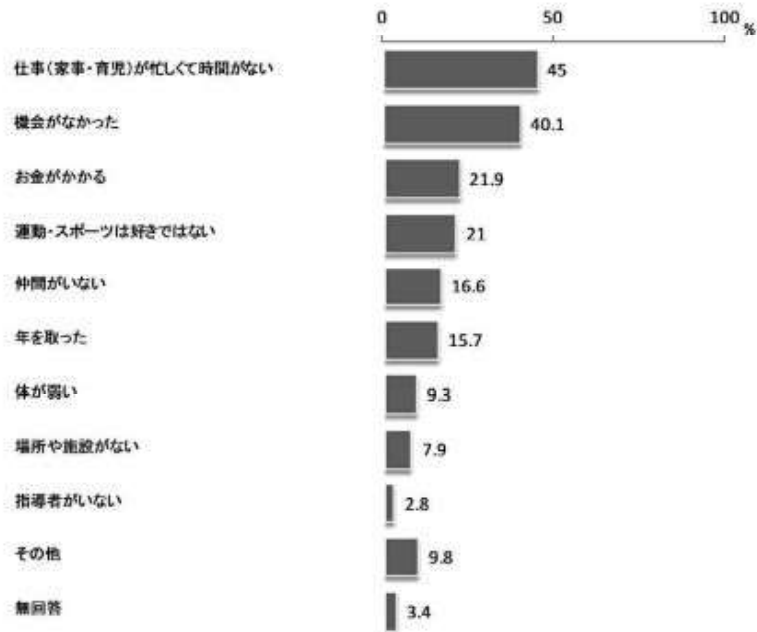
運動やスポーツを行う理由について「健康・体力づくりのため」と答えた人の割合が 52.2%と最も高く、続いて「運動不足を感じるから」(38.8%)、「楽しみ、気晴らしとして」(35.7%)の順になっている。

Q 運動・スポーツを行わなかった理由

「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がない」が 45%

問7 《問5で「6」又は「7」と答えた方にお聞きします》

あなたがこの1年間に、運動やスポーツをしなかったのはどのような理由からですか。【○は複数可】



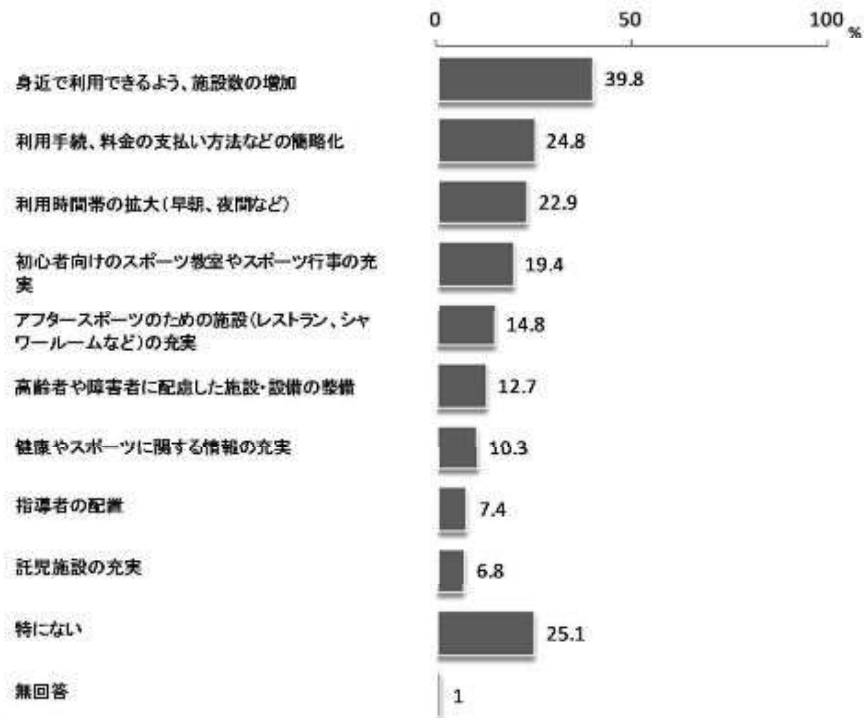
件数 = 471

1 年間、運動やスポーツをしなかった理由について「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がない」と答えた人の割合が 45%と最も高く、続いて「機会がなかった」（40.1%）、「お金がかかる」（21.9%）の順になっている。

Q 公共スポーツ施設についての要望

「身近で利用できるよう、施設数の増加」が 39.8%

問 8 あなたは、市町村立体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか。【○は複数可】



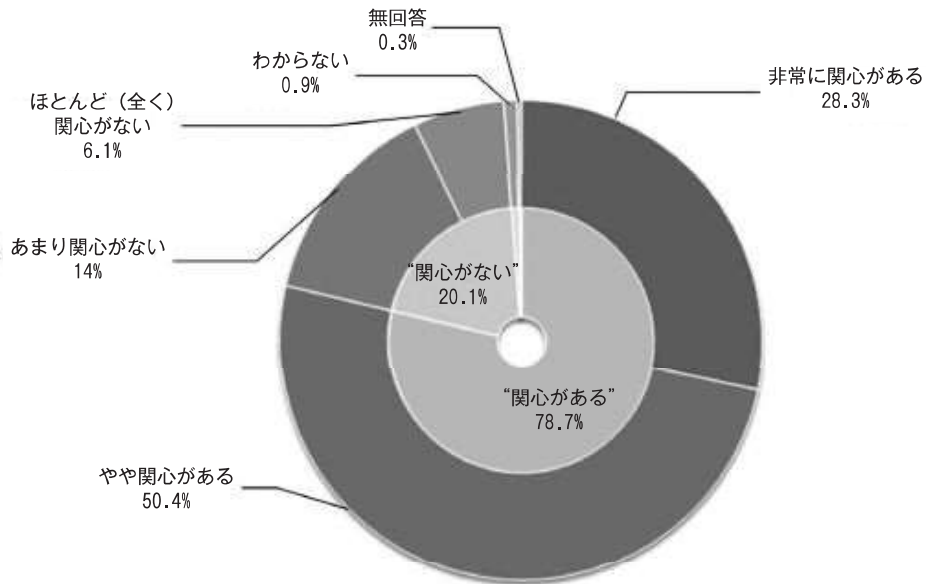
件数 = 1,610

公共スポーツ施設に望む事について「身近で利用できるよう、施設数の増加」と答えた人の割合が 39.8%と最も高く、続いて「特にない」(25.1%)、「利用手続、料金の支払い方法などの簡略化」(24.8%)の順になっている。

Q 国際大会での日本選手の活躍に対する関心

国際大会での日本選手の活躍について"関心がある"が 78.7%

問 9 あなたは、オリンピック・パラリンピック競技大会やサッカー、テニスなどのスポーツの国際大会での日本選手の活躍にどのくらい関心をもっていますか。【〇は1つ】



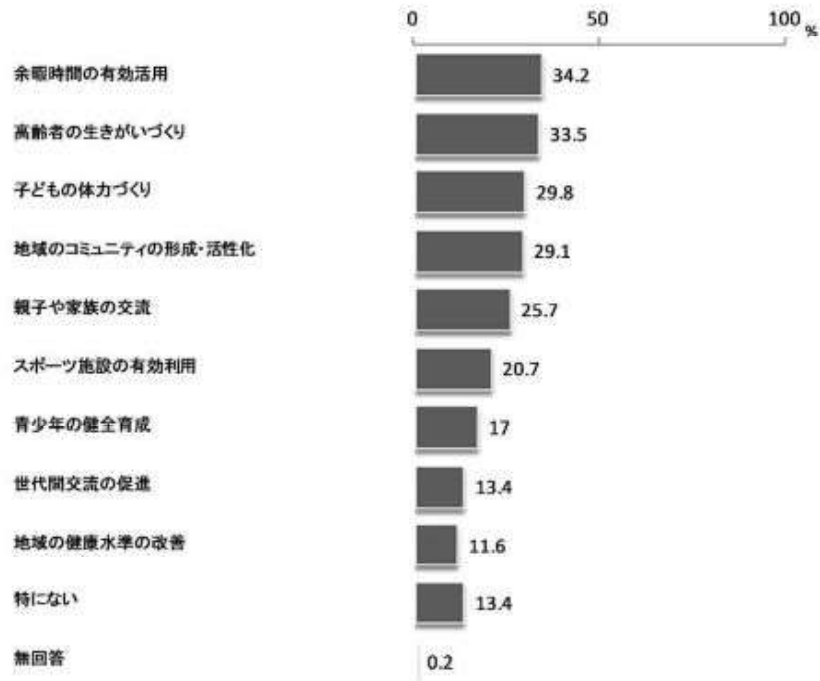
件数 = 1,610

国際大会での日本選手の活躍について、「非常に関心がある」(28.3%)と「やや関心がある」(50.4%)を合わせた国際大会での日本選手の活躍について"関心がある"と答えた人の割合が78.7%に対し、「あまり関心がない」(14%)と「ほとんど(全く)関心がない」(6.1%)を合わせた国際大会での日本選手の活躍について"関心がない"と答えた人の割合は 20.1%となっている。

Q 地域におけるスポーツ振興の効果

「余暇時間の有効活用」が 34.2%

問 10 あなたは、地域におけるスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。【○は複数可】



件数 = 1,610

地域のスポーツ振興への期待について「余暇時間の有効活用」と答えた人の割合が 34.2%と最も高く、続いて「高齢者の生きがいづくり」(33.5%)、「子どもの体力づくり」(29.8%)の順になっている。

国のスポーツ推進施策

1 第2期スポーツ基本計画

スポーツ基本計画は、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定されたものです。

この基本計画は、我が国の社会の現状や国際的な環境変化を踏まえ、スポーツ界における新たな課題に対応するため、スポーツ振興法が50年ぶりに全面改正され、平成23年8月24日に施行されたスポーツ基本法の第9条に基づき、平成24年3月30日告示の基本計画に続き、平成29年3月に第2期スポーツ基本計画として文部科学省が告示したものです。

スポーツ基本法においては、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとされ、スポーツは、青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造、我が国の国際的地位の向上等国民生活において多面にわたる役割を担うとされています。

なお、スポーツ基本法第10条には、都道府県及び市町村の教育委員会においては、国のスポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする明記されています。

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）抜粋

第九条 文部科学大臣は、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、スポーツの推進に関する基本的な計画を定めなければならない。

第十条 都道府県及び市町村の教育委員会は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする。

2 計画の概要

第2期スポーツ基本計画では、多面にわたるスポーツの価値を高め、広く国民に伝えていくため、「スポーツの価値」に関し、①スポーツで「人生」が変わる、②スポーツで「社会」を変える、③スポーツで「世界」とつながる、④スポーツで「未来」を創るという4つの観点から、「スポーツ参画人口」を拡大し、他分野との連携・協力により「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むことを、第2期計画の基本方針として提示しています。

- (1) スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実
- (2) スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現
- (3) 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備
- (4) クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

3 計画の要点

- (1) スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実

政策目標：

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進とその環境整備を行う。その結果として、成人のスポーツ実施率を週1回以上が65%程度（障害者は40%程度）、週3回以上が30%程度（障害者は20%程度）となることを目指す。

- ア スポーツ参画人口の拡大
- イ スポーツ活動の基盤となる「人材」と「場」の充実

- (2) スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現

政策目標：

社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であることを踏まえ、スポーツを通じた共生社会等の実現、経済・地域の活性化、国際貢献に積極的に取り組む。

- ア スポーツを通じた共生社会等の実現
- イ スポーツを通じた経済・地域の活性化
- ウ スポーツを通じた国際社会の調和ある発展への貢献

- (3) 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備

政策目標：

国際競技大会等において優れた成績を挙げる競技数が増加するよう、各中央競技団体が行う競技力強化を支援する。

日本オリンピック委員会（JOC）及び日本パラリンピック委員会（JPC）の設定したメダル獲得目標を踏まえつつ、我が国のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収めることができるよう支援する。

- (4) クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

政策目標：

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、我が国のスポーツ・インテグリティを高め、クリーンでフェアなスポーツの推進に一体的に取り組むことを通じて、スポーツの価値の一層の向上を目指す。

愛知県スポーツ推進審議会委員名簿

平成25年2月15日現在

| 委員名 | 所属・団体等 |
|---------|----------------------------|
| 浅井 喜代治 | 愛知県議会文教委員会委員長 |
| 鵜飼 美保 | 愛知水泳連盟シンクロ委員長 |
| 宇佐美 義光 | 名古屋市体育協会副会長（県体協理事） |
| 亀山 みはる | 愛知県ドッジボール協会常務理事（県体協理事） |
| ◎島岡 清 | 東海学園大学スポーツ健康科学部教授 |
| 鈴木 栄 | 愛知県高等学校体育連盟会長（県立刈谷高等学校長） |
| 仙田 逸二 | 愛知県スポーツ推進委員連絡協議会会長 |
| 高橋 繁浩 | 中京大学スポーツ科学部教授 |
| 田島 正孝 | スポーツドクター愛知県連絡協議会会長 |
| 田村 眞知子 | 愛知県女子体育連盟会長 |
| 津下 一代 | あいち健康の森健康科学総合センター長 |
| 西尾 実千恵 | 愛知県地域婦人団体連絡協議会書記 |
| 仁科 正二 | 愛知県中小学校体育連盟会長（稲沢市立祖父江中学校長） |
| 服部 彰文 | 愛知県市長会理事（弥富市長） |
| 日比 哲也 | 公募委員 |
| 廣 美里 | 公募委員 |
| 村木 啓作 | 愛知県ハンドボール協会理事長（県体協副会長） |
| 森 勇示 | 愛知教育大学教育学部保健体育講座教授 |
| 山下 治夫 | 愛知県町村会文教建設部会長（美浜町長） |
| ○横野 久美子 | 愛知県ソフトテニス連盟副理事長 |

◎会長、○会長職務代理

（五十音順）

平成29年9月1日現在

| 委員名 | 所属・団体等 |
|--------|-----------------------------|
| 磯谷 和明 | 愛知県高等学校体育連盟会長（県立岡崎北高等学校長） |
| 伊藤 敦子 | 公募委員 |
| 井戸田 仁 | スポーツドクター愛知県連絡協議会会長 |
| ○鵜飼 美保 | 愛知水泳連盟シンクロ委員長 |
| 宇佐美 義光 | 名古屋市体育協会会長（県体協副理事長） |
| 内田 智子 | 至学館大学健康科学部助教 |
| 上井 靖 | 愛知県中小学校体育連盟会長（名古屋市立八王子中学校長） |
| 岡村 秀人 | 愛知県市長会理事（大府市長） |
| 加藤 恵美子 | 愛知県スポーツ推進委員連絡協議会副会長 |
| 加藤 房枝 | 愛知県女子体育連盟会長（県立西尾高等学校再任用教諭） |
| 川瀬 雅喜 | 愛知県町村会文教建設部会長（東郷町長） |
| 杉村 幸枝 | 鴨田スポーツクラブ事務局長 |
| 高橋 勝巳 | 公募委員 |
| ◎高橋 繁浩 | 中京大学スポーツ科学部教授（学部長） |
| 星川 佳広 | 東海学園大学スポーツ健康科学部准教授 |
| 細谷 澄子 | 愛知県地域婦人団体連絡協議会副会長 |
| 村木 啓作 | 愛知県ハンドボール協会副会長（県体協理事長） |
| 村本 あき子 | あいち健康の森健康科学総合センター健康開発部長 |
| 森 勇示 | 愛知教育大学教育学部保健体育講座教授 |
| 渡会 克明 | 愛知県議会文教委員会委員長 |

◎会長、○会長職務代理

（五十音順）

愛知県スポーツ推進計画策定委員等名簿（平成24年度）

（策定委員会）

| 氏名 | 所属・団体等 |
|-------|--------------------------------|
| ◎北川 薫 | 中京大学学長 |
| ○島岡 清 | 東海学園大学スポーツ健康科学部教授 |
| 鵜飼 美保 | 愛知水泳連盟シンクロ委員長 |
| 臼井 秀明 | 愛知バスケットボール協会副会長 （県体協副会長） |
| 鈴木 栄 | 愛知県高等学校体育連盟会長 （県立刈谷高等学校長） |
| 仙田 逸二 | 愛知県スポーツ推進委員連絡協議会会長 |
| 高橋 繁浩 | 中京大学スポーツ科学部教授 |
| 田島 正孝 | スポーツドクター愛知県連絡協議会会長 |
| 津下 一代 | あいち健康の森健康科学総合センター長 |
| 仁科 正二 | 愛知県中小学校体育連盟会長 （稲沢市立祖父江中学校長） |
| 西村祐次郎 | 愛知県健康福祉部障害福祉課長 |
| 森 勇示 | 愛知教育大学教育学部保健体育講座教授 |
| 大野 芳樹 | 愛知県教育委員会体育スポーツ課長 |

（作業部会）

| 氏名 | 所属・団体等 |
|-------|---------------------------------|
| ○森 勇示 | 愛知教育大学教育学部保健体育講座教授 |
| 梅村 文彦 | 愛知県健康福祉部障害福祉課主幹 |
| 加藤恵美子 | 愛知県スポーツ推進委員連絡協議会副会長 |
| 武田 孝薫 | 愛知県中小学校体育連盟理事 |
| 松原 伸司 | （財）愛知県体育協会主任 |
| 三田 博司 | NPO法人朝日丘スポーツクラブ事務局長 |
| 安井 光明 | （公財）愛知県教育・スポーツ振興財団 スポーツ振興課主査 |
| 山内 俊幸 | 愛知県高等学校体育連盟研究部委員長 |
| 山崎 穂高 | 愛知県教育委員会体育スポーツ課主幹 |

○部会長

◎委員長、○副委員長

愛知県スポーツ推進計画検討委員会委員名簿（平成29年度）

| 氏名 | 所属（役職） |
|--------|--------------------------------|
| ◎高橋 繁浩 | 中京大学教授 |
| ○鳥居 宜展 | 愛知県教育委員会保健体育スポーツ課主幹 |
| 赤石 将宏 | 愛知県健康福祉部障害福祉課主事 |
| 伊藤 雅登 | 愛知県教育委員会知多教育事務所指導主事 |
| 伊藤 雅彦 | 愛知県振興部スポーツ振興課課長補佐 |
| 浮邊 正夫 | 愛知県教育委員会保健体育スポーツ課 健康学習室指導主事 |
| 加藤恵美子 | 愛知県スポーツ推進委員連絡協議会副会長 |
| 加藤 祥二 | 愛知県立西春高等学校教頭 |
| 久保田竜弥 | 愛知県立岩倉総合高等学校教頭 |
| 久保田昌俊 | 愛知県振興部 アジア競技大会推進課主任主査 |
| 杉村 幸枝 | 鴨田スポーツクラブ事務局長 |
| 祖父江達夫 | 愛知県立豊田西高等学校教頭 |
| 高木 順二 | 愛知県教育委員会尾張教育事務所指導主事 |
| 竹林まゆみ | 愛知県薬剤師会課長補佐 |
| 久田 佳子 | 愛知県教育委員会義務教育課主査 |
| 松原 伸司 | （公財）愛知県体育協会副主幹 |
| 村松 加苗 | 愛知県教育委員会特別支援教育課指導主事 |

◎委員長、○副委員長

愛知県スポーツ推進計画
「いきいきあいち スポーツプラン」(改訂版)

発行 平成30年3月

愛知県・愛知県教育委員会
(教育委員会保健体育スポーツ課)

〒460-8534

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 (052) 961-2111

いきいきあいち スポーツプラン

～豊かなスポーツライフの創造～

2013.4～2023.3

改訂版



愛知県・愛知県教育委員会

いきいきあいち スポ

このプランは、県民一人一人がそれぞれのライフステージや興味・関心等に応じていつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、活力ある「スポーツ愛知」を実現するための基本的な方向性を示すものです。

計画の位置づけ

この計画は、スポーツ基本法第10条第1項に規定する地方スポーツ推進計画として位置づけるものです。

計画期間

平成25年度(2013年度)から平成34年度(2022年度)までの10年間です。
中間年となる平成29年度に、内容の見直しをしました。

計画の推進方針

本県のスポーツの現状を捉えながら、引き続き次の4つの基本施策で推進します。

【基本施策】

- 1 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
- 2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- 3 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
- 4 競技力の向上を目指す取組の推進



スポーツプラン

「いきいきあいち スポーツプラン」の概要図

豊かなスポーツ
ライフの創造

学校と地域における
子どものスポーツ機会の充実

活力ある
「スポーツ愛知」の実現

- ・幼児期からの運動習慣の確立
- ・学校と地域における子どもの体力向上への取組
- ・学校における体育に関する活動の充実
- ・持続可能な運動部活動の推進
- ・安全指導・安全教育の充実

ライフステージに応じた
スポーツ活動の推進

- ・若者をはじめとした成人のスポーツ参加機会の拡充
- ・高齢者の体力づくり支援
- ・障害者のスポーツ活動の推進
- ・スポーツにおける安全の確保

競技力の向上を目指す
取組の推進

- ・ジュニア選手の発掘・育成・強化
- ・トップアスリート(チーム)の強化・連携・活用
- ・スポーツ指導者及び審判員等の養成
- ・障害者スポーツの競技力向上
- ・スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上
- ・国際競技大会等の開催等
- ・スポーツ行政の今後の在り方について

連
携

住民が主体的に参画する
地域のスポーツ環境の整備

- ・総合型クラブの育成支援
- ・子どものスポーツ環境の充実に向けた総合型クラブと学校との連携
- ・地域のスポーツ指導者、クラブマネージャー等の養成及び活用促進
- ・地域スポーツ施設の充実と学校体育施設の有効活用の促進
 - ・地域スポーツと企業・大学等との連携・協働



教育委員会事務局保健体育スポーツ課

〒460-8534 名古屋市中区三の丸3丁目1番2号

電 話 052-961-2111 (代表)

ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/>